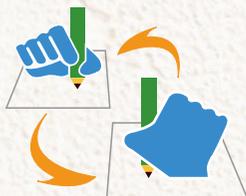


身近にあるたくさんさんのマーク。 一つひとつに思いが込められています。



筆談マーク

きこえない・きこえにくい人、音声言語障がい者、知的障がい者や外国人などが筆談でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、役所、公共及び民間施設・交通機関の窓口、店舗など、筆談による対応ができることが提示できます。また、イベント時のネームプレートや災害時に支援者が身に着けるピブスなどに提示することもできます。

きこえない・きこえにくい人等がこのマークを提示した場合は「筆談で対応をお願いします」の意味、窓口等が掲示している場合は「筆談で対応します」等の意味になります。



ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。「身体障害者補助犬法」において、公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設は、身体障がいのある人が身体障害者補助犬を同伴するのを受け入れる義務があります。補助犬を同伴することのみをもってサービスの提供を拒むことは障がい者差別に当たります。



白杖SOSシグナル

視覚障がいのある方が白杖を頭上50cm程度に掲げて周囲の方にサポートを求める合図です。

視覚に障がいのある方が安全に生活できるよう白杖を使って周囲に助けを求める合図を社会福祉法人福岡県盲人協会が提唱し、一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会や岐阜市視覚障害者福祉協会等とともに全国的な普及啓発を目指す運動が始まりました。



ハート・プラス マーク

身体内部に障がいを持つ人を表現しています。心臓疾患などの内部障がい・内臓疾患は外見からは分かりにくいいため、様々な誤解を受けることがあります。

そのような方の存在を視覚的に示し、理解と協力を広げるために作られたマークです。



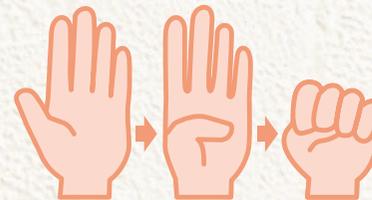
ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマークです(JIS規格)。



【一般社団法人 mina family】 子ども車いすマーク(一例)

「子ども用車いす」であることを示すマーク。このマークは、子ども用車いす及び同目的で使用しているベビーカー(病気や障がいがあるベビーカーでしか移動できない方)などが携帯しています。



声を出せない時に 助けを求めるハンドサイン (シグナル・フォー・ヘルプ)

カナダの女性と女兒の権利を守る財団「Canadian Women's Foundation(カナダ女性財団)」が作った、「助けが必要であることをビデオ通話や対面において相手に知らせるハンドサイン」をSignal For Help(シグナル・フォー・ヘルプ)といいます。



マタニティマーク

妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするマーク。さらに、交通機関、職場、飲食店、その他の公共機関等が、その取組や呼びかけ文を付してポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。